

令和5年度企業版ふるさと納税に係る事業報告について

令和6年12月10日

うきは市長 権藤英樹

(企画財政課)

令和5年度に企業版ふるさと納税により寄附を受領した、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業について、下記のとおり報告します。

記

1.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【デジタル人材の育成】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	11,072,000円
当該事業に対する寄附の受領額	400,000円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【デジタル人材の育成】
事業の目的	プログラミング教室等を開講し、次代を担う人材の育成を図ります。
令和5年度事業	1,107万円
事業の成果	令和5年8月から令和6年2月までの半年間の期間で、子ども向けのプログラミング教室を開催しました。 基礎的な技術を習得するためタイピングの実習から開始し、Minecraft Educationを用いて現在または未来のうきは市を作成しました。また、「FIreAlpaca」を用いたサムネイル制作を行いました。

2.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【人材育成事業】

確定した事業費	19,577,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	2,800,000 円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【人材育成事業】
事業の目的	うきは市が持続可能なまちの形成に向けて人口を確保していくには、基幹産業である農業を支えていく新たな人材と、未来を担う若者の人材の育成が必要不可欠であるため、その人材を育成するための事業を推進します。
令和5年度事業	1,957万円
事業の成果	<p>農業を支える新たな人材を育成するため、新規農業者の研修支援及び中山間地の農業振興を推進し、担い手の経営力の強化を促進しました。</p> <p>未来を担う若者の人材育成を目的に、登山や河川を使用したアクティビティーなど、様々な体験プログラムを実施しました。</p> <p>うきは市民の幅広い人材育成と生涯学習の実現に向けて、うきは市民大学を開講しました。英会話や韓国語の語学や、WordやExcelなどのパソコン教室、ダンスやガーデニングなどの生きがい作りなど、計62講座を開講しました。</p>

3.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【うきはの水プロジェクト】	
確定した事業費	10,969,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	1,000,000 円

(3) 事業成果

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【うきはの水プロジェクト】
事業の目的	うきは市は全国の市で唯一上水道がないため、市民の9割が地下水をそのまま利用しています。安全な地下水を今後も維持・継続していくため、水源や河川など地下水にかかる環境の保全を推進していきます。
令和5年度事業	1,096万円

事業の成果	<p>地下水の現状を把握するため市内30カ所でモニタリング調査を実施し、地下水の安全性を担保しました。</p> <p>環境保全を推進するため、市内に生息する動植物の現状を市内6箇所でモニタリング調査を実施しました。</p> <p>河川愛護の啓発のため、市民団体等によるイベントを開催しました。</p>
-------	--

4.

(1) 事業の名称

うきはの屋形古墳群整備&賑わい創出プロジェクト

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	14,195,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	100,000 円

(3) 事業成果

計画名	うきはの屋形古墳群整備&賑わい創出プロジェクト
事業の目的	<p>うきは市は1年中フルーツが採れる「フルーツ王国」として人気が高く、年間240万人(令和元年)が訪れる北部九州屈指の観光スポットです。</p> <p>なかでも6世紀に造られた屋形古墳群は歴史的価値が高く、観光資源として高いポテンシャルを持っているにも関わらず知名度が低く、その魅力を十分発揮できないまま現在に至っています。</p> <p>受入体制も十分でなく施設も質素であることから、施設を再整備し、文化財である古墳の保存と活用を進めるとともに、フルーツ地帯に位置する古墳という個性的な魅力をPRして地域を活性化します。</p>
令和5年度事業	1,419万円
事業の成果	<p>うきは市内の古墳群を広くPRするため、古墳公開見学会の開催や、社会科見学の受け入れを行いました。</p> <p>うきは市山春地域で日本初と言われる農民劇団「嫩葉会(わかばかい)」が創設され、100周年を記念して、わかば会の歴史や活動を語り継ぐ、記念イベント等を実施しました。</p>

5.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【ラグビータウンプロジェクト】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	44,700,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	28,300,000 円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【ラグビータウンプロジェクト】
事業の目的	ラグビーを通じた「感動」「笑」「夢」溢れるまちづくりへ取り組みます。 ルリーロ福岡の活動を格とするシビックプライドの醸成を図ります。 地域の企業・事業者との連携による地域活性化に向けた取り組みを行います。
令和5年度事業	2,830万円
事業の成果	令和4年4月にルリーロ福岡が発足し、九州トップリーグで2連覇を飾りました。 令和6年1月に、ジャパンラグビー リーグワン DIVISION 3 への新規参入が決定しました。 ルリーロ福岡が筑後エリアをホームエリアとし、久留米市や朝倉市など5市3町と連携協定を締結し、ホームエリアの地域活性化にむけて、様々な取組を行っています。

6.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【観光振興プロジェクト】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	34,995,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	300,000 円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【観光振興プロジェクト】
事業の目的	受け入れ体制を強化して、地域自らが観光客を集める観光まちづくりを行います。 うきは市の名前を広く浸透させ、うきはの地を観光地としてブランド化します。
令和5年度事業	3,499万円
事業の成果	<p>大阪市の阪神百貨店の催事場で、うきは市の特産品を販売する物産展を開催し、観光プロモーション活動を行いました。</p> <p>九州経済産業局の「令和5年度九州における地域ブランド構築・定着支援事業」に採択されたため、商標権を活用したお土産品開発を行いました。道の駅やうきは観光みらいづくり公社等とも連携し、観光の際の手土産となる「うきぴー柿まんじゅう」を開発し、令和6年9月から道の駅うきはで販売を開始しました。</p>